

感謝の気持ち



県立広島大学同窓会 会長

北村 富美子

(女大6生)

同窓会会員の皆さま、二〇二三年をいかがお過ごしでしょうか。日頃の同窓会活動へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。コロナの収束がなかなか見通せない中、ウィズコロナの生活が定着し、同窓会も少しずつではありますが従前の活動に近いものが実施できるようになりました。

一番の喜びは、会場に三百名を超える同窓生の皆さまのご出席に加えてオンラインでのご参加も得て、同窓会総会を開催することができたことです。限られた時間ではありましたが、議事に対するご承認の拍手に身が引き締まる思いがいたしました。また、総会の前に開催されました大学主催の記念式典にも多くの同窓生の皆様がご出席くださり、感謝申し上げます。さらに、総会後の「創立百周年記念祝賀会」は、

三年の順延を経てようやく開催の運びとなりました。ご臨席いただいた大学関係の皆さま方とともに、長い歴史をお祝いすることができました。また女専期の方三名が、関西からお越しください、力強いエールをくださいました。これも全て百周年記念祝賀会実行委員会の皆さまの「やり遂げたい」という強いお気持ちのお陰と、感謝の気持ちで一杯です。長い間本当にお世話になりました。

総会前日、これも三年ぶりに支部長会が開催されました。各支部会とも対面での活動が増えて来ているようです。各支部とも支部会に参加してください。同窓生をいかに増やしていくかが最大の課題となっております。支部会活動こそが必要不可欠な同窓会の基盤だと考えております。どうぞ、お住ま

いの支部会にご参加くださいますようお願いいたします。昨年十一月、東広島支部会の総会に出席させていただきました。その思いを新たにいたしました。総会の会場や広島キャンパスでの大学祭で工夫を凝らした手作り作品の展示販売を長く続けてこられましたバザー部さんが、昨年、活動を終了されましたことをご報告させて頂きました。収益を準会員である学生への支援に充てて頂きました。長い間、本当にありがとうございました。

二〇二〇年度にスタートしました大学の学部再編により、毎年四十五名の入会者の減少が続いていましたが、今年度で終了となります。毎年八十%を超える学生から同窓会への入会金の納入があります。手厚く学生支援をすることが重要だと考えています。

学生達の大学生活も少しずつ戻りつつあります。事務局に顔を出したとき、借りた傘を返却に来た学生の姿を見かけ嬉しくなりました。事務局の窓ごしに校内を歩く学生達の姿を見かけるようにもなりました。三キャンパスで開催された大学祭への支援も同窓会の活動の一つです。また、三キャンパス合同で行われていた学長杯に代わり、広島キャンパスと庄原キャンパス

ではスポーツ大会が開催され、同窓会から菓子パンと飲み物を提供させて頂きました。学生食堂での支援は、ランチ代金の補助の形で三原キャンパスと庄原キャンパスで実施しました。食堂の営業がない広島キャンパスは、食堂支援のかわりに、一月末、昼休憩などを使い、ドーナツを配布しました。

ニュースにもなりましたが、「百万羽おりづるプロジェクト」に同窓会事務局が協力し、ギネス世界記録達成のお手伝いできました。

会報十七号とともに送らせて頂きました事務局員募集に応募があり、会長、副会長で実技・面接を実施し一名を決定、現在事務局で意欲的に働いて頂いています。

最後になりましたが、同窓生の皆さま、会報に載せるための情報を奮って事務局までお寄せくださるようお願いいたします。来たる六月四日(日)には同窓会総会・懇親会を新しい会場、ヒルトン広島にて開催することになっております。多くの方にご出席いただき、楽しい会になりますことを願っております。新年度もどうぞよろしくお願いたします。